

アミーラ ファームウェア SUP1.1.36

リリースノート 日本語版

2015年1月13日

和訳・追記

株式会社ナックイメージテクノロジー

営業本部 営業制作部

〒107-0061

東京都港区北青山 2-11-3

Tel.03-3796-7901

目次

A.	はじめに	3
	新しい機能及び変更点の概要.....	3
	製品ラインアップ.....	3
	SUP 1.1 の機能概要.....	4
B.	アップデート手順	5
	ソフトウェアアップデートのダウンロード及び登録プロセス.....	5
	ソフトウェアアップデートパッケージの入手方法.....	5
	カメラのアップデート手順.....	6
C.	新しい機能及び改変	7
	1. プリレコード機能.....	7
	2. Bluetooth オーディオモニタリング&コメントトラック.....	7
	3. Ethernet リモート制御.....	7
	4. ホワイトバランスオートトラッキング機能.....	8
	5. HD-SDI 出力の設定 (ステータス情報の重ね合せ表示).....	8
	6. 起動時間の短縮.....	8
	7. EVF の接眼部および液晶モニタ上での波形表示.....	8
	8. SMPTE カラーバーの表示.....	9
	9. ENG タイプレンズの制御 (オートアイリス、リターン、REC スタート/ストップ).....	9
	10. HD-SDI 同期 (ゲンロック).....	9
	11. オーディオチャンネルの分離.....	9
	12. メッセージの簡便化.....	9
	13. Playback ボタンの誤動作防止.....	10
	14. EF マウントレンズのアイリス制御.....	10
	15. 新しい向上したディベイヤール.....	11
	16. 多くのユーザーインターフェースおよびメニューの改善.....	11
	17. 180 度画像回転収録機能.....	12
	18. LDS Quicktime メタデータサポート.....	12
	19. LDS データを EVF、モニタ、HD-SDI で表示(アイリス、フォーカス、ズーム).....	12
	20. 映像のシャープネスおよびディテールパラメータ.....	12
	21. EVF のズーム、ピーキング機能の改善.....	13
	22. テンポラリーライセンスのサポート.....	13
	23. High Humidity(高湿度)モードの追加.....	14
	24. オーディオライン入力レベルの向上.....	14
	25. 新世代 SanDisk 128 GB カードのサポート.....	14
D.	既知の問題	16
	アクセサリ.....	16
	オーディオ.....	16
	入出力.....	17
	メディア.....	17
	モニタリング.....	17
	収録 18	
	SUP アップデート.....	18
	タイムコード.....	18
	使い勝手.....	19
	ビューファインダ.....	20

A. はじめに

アミーラソフトウェアアップデートパッケージ (SUP) 1.1 は、アミーラの全てのモデルに対応する新しいファームウェアです。このバージョンでは、以下のような新しい機能を搭載していません。

SUP 1.1 はアミーラの機能を大幅にアップグレードします。アミーラの全モデルに対してインストールすることを推奨します。

本書では、このソフトウェアバージョンが持つ既知の問題についても記述しています。実際にカメラを御使用になる前に、念入りにお読みください。

ARRI の Web サイト (www.arri.com/amira) も併せてご参照ください。

新しい機能及び変更点の概要

- プリレコード機能
- Bluetooth オーディオモニタリング&コメントトラック
- PC からの Ethernet 有線リモート制御
- ホワイトバランスオートトラッキング機能
- HD-SDI 出力の設定機能 (ステータス情報の重ね合せ表示)
- カメラ起動時間の短縮
- EVF の接眼部および液晶モニタ上での波形表示
- SMPTE カラーバーの表示
- ENG タイプレンズの制御 (オートアイリス、リターン、REC スタート/ストップ)
- HD-SDI 同期 (ゲンロック)
- オーディオチャンネルの分離
- メッセージの簡便化
- Playback ボタンの誤動作防止
- EF マウントレンズのアイリス制御
- 新しい向上したディベイヤ
- 多くのユーザーインターフェースおよびメニューの改善
- 180 度画像回転収録機能
- LDS Quicktime メタデータのサポート
- LDS データを EVF、モニタ、HD-SDI で表示(アイリス、フォーカス、ズーム)
- 映像のシャープネスおよびディテールパラメータ
- EVF のズーム、ピーキング機能の改善
- テンポラリーライセンスのサポート
- High Humidity(高湿度)モードの追加
- オーディオライン入力レベルの向上
- 新しい SanDisk 製 128GB カードのサポート

製品ラインアップ

モデルにより利用できる機能が異なりますのでご注意ください。

(SUP 1.1 で新しく導入された機能は青字で表記します。)

アミーラ (ベーシック) 経済性に優れたモデル

利用可能な機能 : HD 1080i 及び 1080p、0.75-100 fps、Rec 709 での ProRes 422 及び 422 (LT) 収録、3 Look、カメラ内画質調整機能 : knee、gamma、saturation、フォーカス Peaking 表示、露出 Zebra、False Color、[Waveform\(波形表示\)](#)

アミーラアドバンスト オールラウンドモデル

アミーラ(ベーシック)の機能に加えて利用可能な機能 : 100-200 fps、ProRes 422 (HQ) 収録、Log C、Look 機能制限の解除、Look 外部読み込み、ASC CDL インカメラグレーディング、[ホワイトバランスオートトラッキング](#)、[Bluetooth オーディオモニタリング](#)、[プリレコード機能](#)

アミーラプレミアム 全機能を搭載したモデル

アミーラアドバンストの機能に加えて利用可能な機能 : 2K (2048 x 1152) 及び ProRes 4444 収録、カスタム 3D LUT 読み込み機能

SUP 1.1 の機能概要

製品	アミラ(ベーシック)	アミラアドバンスト	アミラプレミアム
センサータイプ	35mm フォーマット ARRI ALEV III CMOS (28.17x18.13)		
センサーピクセル数	総画素数 3414 x 2198 : 2880 x 1620 (HD 16:9)、2868 x 1612 (2K 16x9)、収録画角外のモニタリング時 : 3168 x 1772 (HD)、3154x1764 (2K)		
収録ピクセル数	1920x1080 ProRes HD 及び HD-SDI、2048 x 1152 ProRes 2K		
レンズマウント	PL マウント (ヒロセコネクタ及び LDS 付き)、 B4 マウント (ヒロセコネクタ付き) 、 EF マウント		
シャッター	電子シャッター、5.0°~356.0°、1/8000s~1.3s		
露光指数	標準感度 EI 800		
露光ラチチュード	EI 160 から EI 3200 までの感度範囲全体で 14 ストップ以上 (ARRI ダイナミックレンジテストチャート DRTC-1 計測時)		
電動 ND フィルター	FSND 0.6、1.2、2.1		
騒音レベル	< 20 dB (A)		
重量	~ 4.1 kg/9.2 lbs (カメラ本体以外に PL レンズマウントも含む)		
寸法	長さ : 309mm/12.1"、幅 : 139 mm/5.4"、高さ : 149mm/5.8" (カメラ本体以外に PL レンズマウントも含む)		
周囲環境	-20°C~+50°C (-4°F~+122°F)		
ビューファインダ	アミラマルチビューファインダ MVF-1 (OLED 及び LCD)		
ビデオ出力	2x HD-SDI 出力 1.5G 及び 3G : オーディオ及びメタデータがエンベッドされた非圧縮 HD ビデオ		
オーディオ出力	3.5mm ヘッドフォンジャック、 Bluetooth オーディオ		
電源出力	ヒロセ 12 ピン (ENG 型ズームレンズ用)、12V : D-tap、ヒロセ 4 ピン、LEMO 2 ピン、24V : RS 3 ピン		
入力	Genlock (BlackBurst、Trilevel、 HD-SDI)、タイムコード (入出力)、すべての BNC		
その他インターフェイス	USB 2.0 (ユーザーセットアップ、Look ファイル、フレーム取り込み等用)、Ethernet		
記録メディア	CFast 2.0 メモリカード		
USB メモリ	アミラ Look ファイル、ユーザーセットアップファイル、フレームラインファイル、機能ライセンスキーなどの外部読み込み及び保存用。ライブイメージから DPX (.dpx、10 ビット) または JPEG (.jpg、8 ビット) フォーマットでキャプチャした静止画の保存。ログファイルの保存。ソフトウェアアップデートパッケージ (SUP) のインストールの際にも使用。		
収録フォーマット	HD 1920x1080 (インターレース及びプログレッシブ)	HD 1920x1080 (インターレース及びプログレッシブ)	2K 2048x1152、HD 1920x1080 (インターレース及びプログレッシブ)
収録のフレームレート	0.75 - 100 Fps (プログレッシブ)	0.75 - 200 Fps (プログレッシブ)	0.75 - 200 Fps (プログレッシブ)
収録コーデック (オーディオ及びメタデータがエンベッドされたもの)	ProRes 422、422 (LT)	ProRes 422 (HQ)、422、422 (LT)	ProRes 4444、422 (HQ)、422、422 (LT)
Rec709/LogC	Rec709	Rec709 & Log C	Rec709 & Log C
Look	3 つの固定 Look (カメラ内で調節可能)	完全な Look 機能 : Look の外部読み込み可能	完全な Look 機能 : Look の外部読み込み可能
調節可能なイメージパラメータ	Knee、Gamma、Saturation、Black Gamma、Saturation by Hue	Knee、Gamma、Saturation、Black Gamma、Saturation by Hue、ASC CDL パラメータ (Slope、Offset、Power、Saturation)	Knee、Gamma、Saturation、Black Gamma、Saturation by Hue、ASC CDL パラメータ (Slope、Offset、Power、Saturation)
カスタム 3D LUT の外部読み込み	—	—	カスタム 3D LUT の外部読み込み
フォーカスコントロール及び露出コントロール	Peaking、Zebra、False color、 Waveform	Peaking、Zebra、False color、 Waveform	Peaking、Zebra、False color、 Waveform
ホワイトバランス	Auto WB	Auto WB、 ダイナミックオートトラッキング WB	Auto WB、 ダイナミックオートトラッキング WB
WiFi & Ethernet カメラリモートコントロール	—	*	*
オーディオモニタリング	ヘッドフォン出力 (ミニジャック)	ヘッドフォン出力 (ミニジャック)、 Bluetooth オーディオモニタリング	ヘッドフォン出力 (ミニジャック)、 Bluetooth オーディオモニタリング
プリレコード機能	—	プリレコード機能	プリレコード機能

* Ethernet リモートコントロールは SUP 1.1 で利用可能になりました。WiFi リモートコントロールは将来リリースされる SUP で利用可能になる予定です。

B. アップデート手順

ソフトウェアアップデートのダウンロード及び登録プロセス

アミーラのダウンロードセクション (arri.com/amira/downloads) で、ソフトウェアアップデートパッケージ (SUP) が提供されています。ソフトウェアアップデートパッケージ (SUP) ダウンロードにアクセスするには、あらかじめお持ちのアミーラカメラのシリアル番号を登録しなければなりません。これまでに ALEXA (アレクサ) をお求めになり、ダウンロードセクションにアクセスするための有効なアレクサアカウントをお持ちのお客様は、特に規定されている場合を除き、このアカウントを使用することができます。

以下に記述されている方法で USB メモリを使用して、カメラに SUP をインストールすることができます。

ソフトウェアアップデートパッケージの入手方法

- まだ登録が済んでいない場合は、アミーラダウンロードページ (arri.com/amira/downloads) にアクセスし、「AMIRA Software Update Package x.x」のセクション（「x.x」は、ダウンロードするソフトウェアアップデートパッケージのバージョン番号）が表示されるまでスクロールします。「Please -> register to get an account」をクリックすると、アミーラお客様登録ページが表示されます。
- 必要なデータを入力し、お持ちのカメラのシリアル番号を「K1.71700.0-xxxxx」の形式で入力してください。また、ページの下にある登録条項を読んだ上で同意するようにしてください。
- [create account]ボタンを押すと、確認のための E メールがユーザーに送られます。このメールには、アカウントを有効にするためのリンクが記載されています。このリンクをクリックすると、ログインの認証情報を含むメールが送信されます。ログインサイト (arri.com/login/login.html) にアクセスしてログインし、もう一度ダウンロードセクションに移動してください。
- ソフトウェアパッケージダウンロードにアクセスすると、このダウンロードの条項及び条件に同意するかメッセージが表示されます。これらの条項に同意すると、ダウンロードリンクが有効になります。

【備考】

ナックイメージテクノロジーでは、国内のカメラの SUP のバージョンが異なることに起因する現場の混乱や、オーナー様以外の方がファームウェアを書き換えることを防ぐ目的で、弊社から販売させていただいたカメラのアカウントをオーナー様同意の上で一括管理させていただいております。

新しい SUP は、ナックイメージテクノロジーで機能や問題点の確認・検証を行ったうえで各オーナー様に一斉配布を行っております。

別のバージョンの SUP が必要な場合や、弊社の検証が完了する前に新しい SUP が必要となった場合は、オーナー様を通してナックイメージテクノロジーまでご相談ください。

カメラのアップデート手順

アミーラソフトウェアは、USB メモリを使用してアップデートします。

カメラ本体だけでなく、カメラに接続されているビューファインダ（MVF-1）にも同時にアップデート作業が実施されます。

- ダウンロードが終わったら、ダウンロードしたファイル（*.zip）をダブルクリックして解凍するか、手動で解凍してください。この操作により、2 個のアップデートファイル（*.SUP 及び*.lic）と、SUP 1.1 リリースノートがコンピュータ上に作成されます。
国内のカメラオーナー様には、ナックイメージテクノロジーから必要ファイルを CD-ROM にて配布致します。
- まずアップデート中に電源が切れてしまわないよう、カメラに安定した電力を供給できる環境を用意します。AC-DC 等からケーブルで電源供給しつつ、フル充電されたバッテリーを搭載した状態でカメラに電源を入れます。こうすることにより、万が一一方の電源がダウンした場合でもカメラの電源は切れません。
- USB メモリの準備をまだ行っていない場合、アミーラで使用する USB メモリ (FAT32 でフォーマットされたもの) を用意し、カメラに接続します。[MENU]>[Media]>[Prepare USB medium]を選択して、[CONFIRM]を押します。この操作により、USB メモリ上に、必要なフォルダ構造が作成されます。
- この USB メモリをコンピュータに接続し、ダウンロードまたは CD-ROM にて提供された*.SUP ファイルを、USB メモリの ARRI/AMIRA/SUP フォルダに移動します。
次に、*.lic ファイルを、USB メモリの ARRI/AMIRA/LICENSES フォルダに移動します。
- USB メモリをカメラに接続し、[MENU]>[System]>[Camera update]を選択します。
- リストからアップデートしたい SUP のファイルを選択して、ジョグホイールを押します。
- メッセージが表示されたら[CONFIRM]を押します。この操作によりインストールが始まります。
- オーディオ画面にアップデートプロセスが表示されます。
- アップデートプロセスが正常に終了したら、成功したことを示すメッセージがモニタに表示されます。

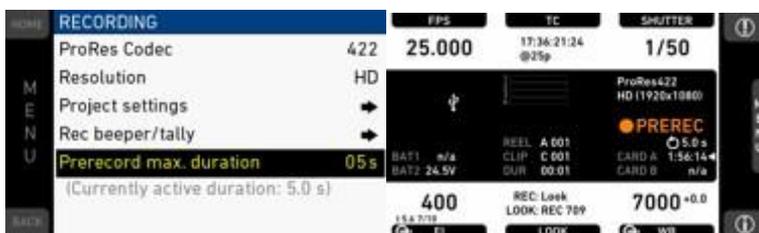
C. 新しい機能及び改変

1. プリレコード機能

この機能を有効にすると、カメラ内部にデータをループでバッファし続けておき、REC ボタンを押すとそれまでのバッファデータとその後のデータを統合してメディアに収録することが可能となります。REC ボタンを押す前から収録できる為、子どもや動物などの撮影に有効です。最大バッファ収録時間は、以下のようになっています。

	25fps	30fps	50fps	60fps	100fps	200fps
ProRes 422 LT (HD/2K)	20 秒	16 秒	10 秒	8.3 秒	4.9 秒	2.3 秒
ProRes 422 (HD/2K)						
ProRes 422 HQ (HD)						
ProRes 422 HQ (2K)	18 秒	15 秒	8.3 秒	7.4 秒	4.3 秒	2.1 秒
ProRes 4444 (HD)	13 秒	11 秒	6.7 秒	5.5 秒	3.2 秒	1.5 秒
ProRes 4444 (2K)	12 秒	9.9 秒	5.9 秒	4.8 秒	2.8 秒	1.4 秒

必要なプリレコード時間を設定する場合は、[MENU]>[Recording]を選択します。[MENU]>[User buttons]でユーザーボタンにこの機能を割り当てることにより、プリレコードを有効にできるようになります。



2. Bluetooth オーディオモニタリング&コメントトラック

SUP 1.1 では、Bluetooth ヘッドセットを使用することにより、収録中や再生中にオーディオをモニタリングできるようになります。サポートされているプロトコルは、HFP (handsfree 1.5/1.6) 及び A2DP です。HFP プロトコルでは、トークバックチャンネルもあり、QuickTime クリップではこれが個別のオーディオトラックとして収録されます (トラック 5)。これは、収録中にコメントを追加する場合などに利用することができます。

Bluetooth セットアップは、カメラの左側のオーディオ[SETUP]メニューにあります。

SETUP	BLUETOOTH	BLUETOOTH
Audio recording On	← Back	← Back
Test tone Off	Power On	Not connected
Maximum line levels →	Device list →	MyHeadset
Display brightness 5	Profile Talk-back (HFP)	Another Device
Display style Day	Talk-back channel Open	
Bluetooth →	Talk-back monitoring L + R	

3. Ethernet リモート制御

Ethernet (RJ-45) ケーブルでカメラと接続したパソコン (または Ethernet 接続をサポートしているその他のデバイス) の Web ブラウザを使用することによって、カメラメニューを制御することができます。

ただし SUP 1.1 の段階では、WiFi による接続はサポートされていません。将来リリースされる SUP でサポートされる予定です。

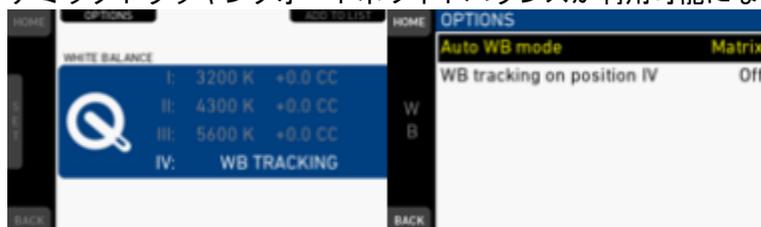
お手持ちのリモートコントロールデバイスをカメラのネットワークに接続すると (SSID : 「アミラシリアル番号」 (5桁の数字))、<http://amira-serialnumber.local> (例 : <http://amira-15040.local>) から、カメラにリモートでアクセスできるようになります。

お手持ちのデバイスが Apple 社の Bonjour (ボンジュール) をサポートしていない場合、デバイスの IP をカメラの IP 範囲に設定し、その IP アドレスを使用してカメラに接続しなければなりません。カメラの IP アドレスを確認するには、[INFO]ボタン ([i]アイコンの隣にある下側の丸いボタン) >[Network info]を使用します。

4. ホワイトバランスオートトラッキング機能

この機能は、キャプチャしたイメージの色温度を継続的に測定し続け、カメラのホワイトバランスを 10 ケルビン/0.1CC 単位で自動調節するものです。

ホワイトバランストラッキングを有効化するには、[HOME]>[WB]>[OPTIONS]を選択して、[WB Tracking...]を[On]に設定します。この操作により、WB レバースイッチのポジション IV でダイナミックトラッキングオートホワイトバランスが利用可能になります。



5. HD-SDI 出力の設定 (ステータス情報の重ね合せ表示)

HD-SDI 出力は、ステータスオーバーレイ及びフレームラインを異なる構成で表示できるよう設定することができます。HD-SDI 出力を構成するには、[MENU]>[Monitoring]>[SDI]>[SDI processing]を選択します。



6. 起動時間の短縮

アミーラの起動に要する時間が約 13 秒に短縮されました、

7. EVF/液晶モニタ上での波形表示

EVF/接眼部および液晶モニタで輝度波形表示が可能になりました。これによって、Zebra や False color に加え、詳細な露出コントロールが可能になります。

波形表示は、[MENU]>[User buttons]でユーザーボタンにこの機能を割り当てることによって有効化できます。ビューファインダの液晶モニタをライブイメージモードにして、上部中央のボタンを押すことにより、モニタの波形のオン/オフを切り換えることができます。波形は、接眼部と液晶モニタで個別にオンにすることができます。

注：波形の値は、EVF/モニタのパスに適応された Look に基づき表示されます。必ずしも収録映像の値になるわけではありません。



8. SMPTE カラーバーの表示

カメラに接続したモニタをセットアップするために、SMPTE カラーバーを出力できるようになりました。カラーバーを有効化するには、[MENU]>[Monitoring]を選択し、[Color bars]を[On]に設定します。

注：カラーバーは、EVF/モニタ及び HD SDI 出力に表示されるもので、CFast 2.0 カードに収録することはできません。

9. ENG タイプレンズの制御（オートアイリス、リターン、REC スタート/ストップ）

フジノン ZK レンズやキヤノン CN17x7 などの ENG スタイルの PL マウントレンズ、B4 マウントの 2/3"用レンズを、ヒロセ 12/20 ピンレンズカメラケーブルを使用してカメラと接続した場合、新しい機能が利用できます。

収録の開始/停止（SUP 1.0 にすでにサポート済）に加え、レンズサーボのアイリスボタンを使用することによってアイリスを自動調整することができます。また、[Return]ボタンにユーザーボタンを割り当てる機能も利用可能です。

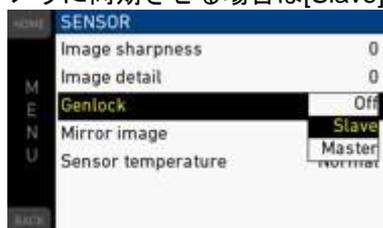
これらの機能は、PL マウントの LDS 接点を介した接続では使用することができません。上記のレンズカメラケーブルを接続した場合に限り使用可能になります。



10. HD-SDI 同期（ゲンロック）

アミーラを他の機器と同期させる場合は、1.5G HD-SDI 信号を「Sync In」コネクタに接続して、Genlock 機能を利用することができます。

Genlock を有効化するには、[MENU]>[System]>[Sensor]を選択し、[Genlock]を[Slave]または[Master]に設定します。アミーラに他のカメラを同期させる場合は[Master]、アミーラを他のカメラに同期させる場合は[Slave]に設定します。



11. オーディオチャンネルの分離

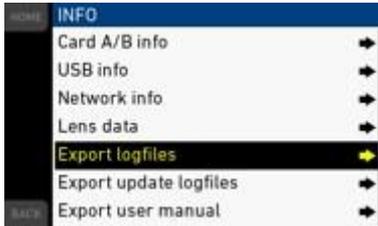
ステレオ入力チャンネル A1 と A2、同様にモノラル入力チャンネル B と C は、ゲインの設定を MAN + L と AUTO に設定した時にレベル設定が連動しなくなります。

12. メッセージの簡便化

メッセージングシステムがより分かりやすく簡素化されました。ホーム画面の[!]（感嘆符）ボタンを押すと、[ALERTS]画面が表示され、重要なシステムステータスがリスト表示されます。[i]（インフォメーションマーク）ボタンを押すと、新しい[INFO]画面が表示され、カメラのすべての情報が 1 ページにまとめて表示されます。情報ステータス及びイベントリストに替わって、ステータスアイコン及びポップアップメッセージが表示されるようになりました。



[INFO]画面では、カメラログファイル及びユーザーマニュアルを、接続した USB メモリにエクスポートすることもできます。



13. Playback ボタンの誤動作防止

再生ボタンを約 1 秒間押し続けることで EVF 上で再生が可能になります。再生モードを誤って起動してしまうのを防ぐための機能です。

14. EF マウントレンズのアイリス制御

EF マウントレンズのアイリスを、カメラユーザーインターフェイスを介してコントロールすることができます。コントロールする手段には、次のようにさまざまな方法があります。

- アイリス値をダイヤル設定する場合は、[Home]>[EI]>[Iris]を選択します。この操作により、アイリスをビューファインダのジョグホイールで調節できるようになります。ジョグホイールを押すと、調整単位がフルストップ(1 絞り)かサブストップ (1/*絞り) を選択できます。サブストップの単位(何分の 1 単位か)はレンズの種類によって変わり、自動的に設定されます。
- ライブビュー画面では、下部の丸いボタンを押すことによって、アイリスの調節の有無を切り換えることができます。ボタンを押し続けると、ボタンを押している間に限って、アイリスの調節が有効になります。調節が有効な状態になったら、ジョグホイールを使用してアイリス値を調節することができます。ジョグホイールを押すと、調整単位がフルストップ(1 絞り)かサブストップ (1/*絞り) を選択できます。サブストップの単位(何分の 1 単位か)はレンズの種類によって変わり、自動的に設定されます。
- 1 つのユーザーボタンを[Open iris]、他のユーザーボタンを[Close iris]に割り当てることで、アイリスのコントロールを行うことができます。このボタンを短時間押しするとサブストップ単位で調整、長時間押しするとフルストップ(1 絞り)単位で調整可能です。ユーザーボタンを割り当てる方法については、マニュアルのユーザーボタンの章を参照してください。
- オートアイリスに設定する場合は、[Home]>[EI]>[Iris]>[Options]を選択します。
 [Auto iris mode] : [Integral] : アイリス値がイメージ全域を計測して計算されます。
 [Center] : アイリス値がイメージの中心部を優先して計算されます。
 [Auto iris offset] : 自動アイリスの計算結果を、1/3 ステップサイズ、最大+/-3 段階の範囲で補正することができます。

*モード切り替えをユーザーボタンに割り振ることができます。



ARRI では、以下のレンズについて、アイリスコントロール及びレンズデータが正常動作することを確認しています。

キヤノン	EF 8-15mm f/4L フィッシュアイ USM
キヤノン	EF 17-40mm f/4L USM
キヤノン	EF 24-105mm f/4L IS USM
キヤノン	EF 70-200mm f/2.8L IS II USM / EF70-200f/2.8 USM
キヤノン	EF 200-400mm f/4L IS USM エクステンダー1.4X
キヤノン	EF 14mm f/2.8L II USM
キヤノン	EF 24mm f/1.4L II USM
キヤノン	EF 35mm f/1.4L USM
キヤノン	EF 50mm f/1.2L USM
キヤノン	EF 85mm f/1.2L II USM
キヤノン	EF 135mm f/2L USM
キヤノン	EF 400mm f/2.8L IS II USM
キヤノン	EF 100mm f/2.8L マクロ IS USM

15. 新しい向上したディベイヤー

SUP 1.1 では、ディベイヤーアルゴリズムがさらに改善されており、アミーラのイメージクオリティを一段と向上させています。

16. 多くのユーザーインターフェースおよびメニューの改善

- ホーム画面のパラメータ調節が簡素化されました。[FPS]、[SHUTTER]、[EXP TIME]、[EI]、[LOOK]、[WB]では、[SET]機能が下部中央の画面ボタンからジョグホイールに移動しました。この修正により、指の動きが少なくなり、すばやく調節できるようになりました。
- 削除画面の[DELETE]機能もジョグホイールに移動しましたが、[CONFIRM]は画面ボタンにそのまま残っています。これは安全上の配慮に基づくものです。
- [Project settings]のサブメニューが、[MENU]>[Recording]下に配置されました。プロジェクト関連の設定はここに集められています。
- [Audio setup]画面が、ハードウェアアップグレードにより対応するようになりました。最大ラインレベル入力を 8dBu と 24dBu の間で切り替えることができます。これは、特定のオーディオハードウェアが統合されているカメラ（IAOU2）でのみ動作します。
- [Menu]>[Licensed features]で、カメラのライセンスモデル（アドバンス、プレミアム等）が表示され、[FEATURES]ボタンを押すと、ライセンスモデルの詳細な機能が表示されるようになりました。また[DELETE]ボタンを使用すると、カメラをアドバンス（プレミアムカメラの場合）またはエコ（プレミアム及びアドバンスカメラの場合）にダウングレードすることができます。USB メモリに適切な個別のライセンスファイルを入れ、これを読み込むことにより、以前のライセンスに戻すこともできます。※ライセンスファイルは必ず別途保管しておくようにお願いします。
- プロジェクトレートの変更がセンサーの fps 値に自動で反映されるようになりました。プロジェクトレートを設定すると、センサーの fps 値が、リアルタイム収録の値になります（クイックモーションやスローモーションにならない値になります）。また、ポップアップメッセージが表示され、SDI フレームレートをチェックすることも推奨されます（メッセージから SDI のフレームレート設定画面にダイレクトにアクセスできます）。
注：ユーザースイッチが FPS に設定されているとき、ポップアップメッセージには、リアルタイム収録となる正しい fps 値が表示されます。
- 非リアルタイムの警告。センサーの fps 設定がリアルタイム収録にならないとき（クイックモーションまたはスローモーションとなるとき）、意図しないフレームレートで誤って収録されないよう、ホーム画面の FPS 欄、EVF モニタのライブ画面、EVF 接眼部及び SDI ステータス表示がオレンジに変わります。
- バッテリー及びメディアの容量が警告レベル（バッテリー警告レベルはユーザーが定義した値、カード警告レベルは残りが 2 分未満になったとき）を越えると、ホーム画面、モニタのライブ画面、EVF 及び SDI オーバーレイにその容量がグレー/オレンジで点滅表示されます。

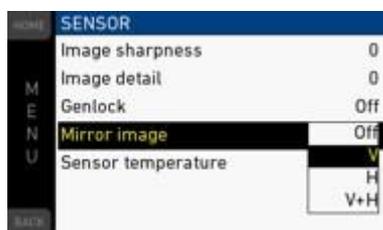
- i) スマートなユーザーボタン動作。いくつかの機能について、ユーザーボタンの動作が変更されており、短時間ボタンを押すと割り当てられている機能が切り替わり、ボタンを長押し（押し続けた状態を維持）するとその機能が一時的に起動するようになっています。該当機能は、[EVF peaking]、[EVF exp. tool]、[EVF zoom]、[EVF Gamma]、[EVF surround]、[EVF frame lines]、[Return In]、[SDI frame lines]、[SDI gamma]、[SDI surround]、[SDI peaking]、[SDI exp. Tool]、[EVF Waveform]、[Monitor Waveform]です。
- k) カメラがロックされているときにスイッチポジションが変わると、ポップアップ表示で通知されます。

17. 180 度画像回転収録機能

ローモード撮影や、ARRI ウルトラワイドズーム UWZ9.5-18mm を使用している場合など、カメライメージを水平または垂直に反転することができます。

イメージの回転を有効化にする場合は、[MENU]>[System]>[Sensor]を選択し、[Mirror image]を[V]、[H]、[V+H]に設定します。

なお、本機能は収録ファイルには適用されていません（モニタリングとメタデータのサポートのみです。）



18. LDS Quicktime メタデータサポート

レンズデータ対応レンズ(LDS、Cooke/i、ENG タイプレンズ)をお使いの場合、アイリス/フォーカス/ズームの設定がメタデータとして、ProRes QuickTime ファイルに書き込まれます。

19. LDS データを EVF、モニタ、HD-SDI で表示(アイリス、フォーカス、ズーム)

アイリス、ズーム、フォーカスのレンズデータを、モニタ出力に重ねた状態で表示することができます。レンズのメタデータを確認するには、[HOME]>[i]>[Lens data]を選択します。

EVF の液晶モニタや接眼部にレンズのメタデータを表示するには、

[MENU]>[Monitoring]>[EVF/Monitor]>[EVF overlays]または[Monitor overlays]>[Status components]を選択し、[Lens data]を起動します。

SDI 出力に表示するには、[MENU]>[Monitoring]>[SDI]>[SDI processing]>[SDI overlays]>[Status components]で設定することができます。



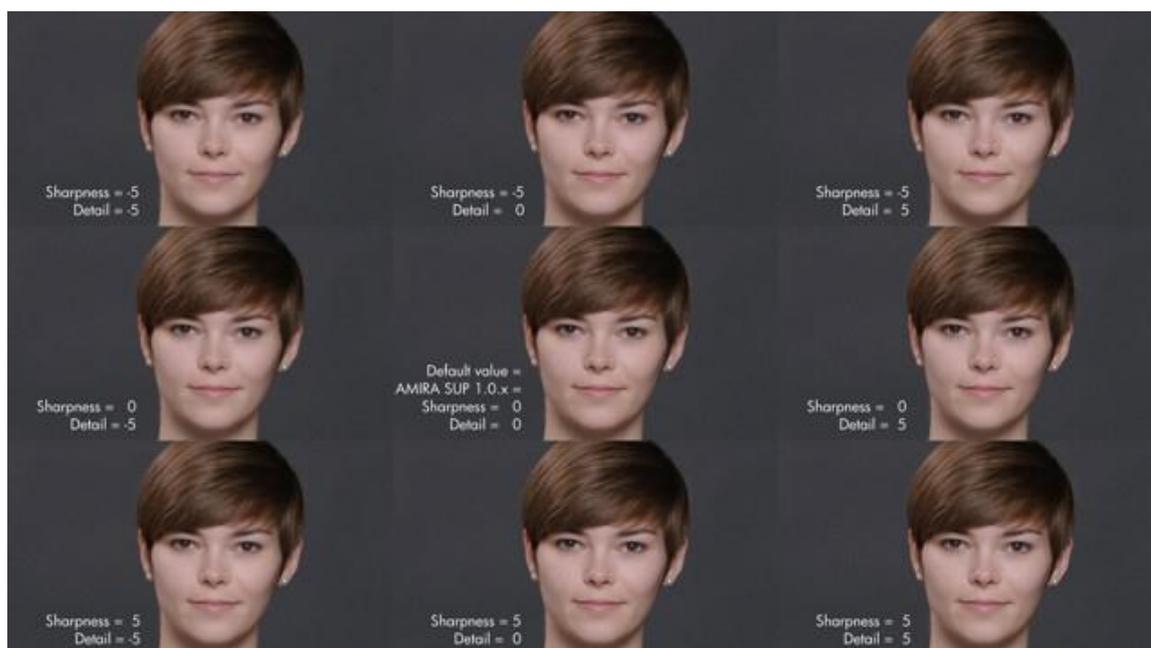
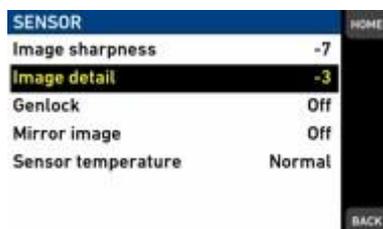
20. 映像のシャープネスおよびディテールパラメータ

イメージシャープネスやイメージディテールのパラメータ ([Image sharpness]及び[Image detail]) を使用すると、画像を全体的にシャープ（またはソフト）に調整することができます。これは、レンズの種類が異なっても画像を統一させたい場合や、イメージの外観を全体的にハード（またはソフト）にしたい場合などに使用することができます。シャープネスパラメータでは、エッジの度合いを調節します。値を高くすると、よりコントラストが強くなります。値を低くするとソフトなイメージになります。

ディテールパラメータは、イメージの細かいディテールを表示する場合の分解能を定義します。どちらのパラメータも範囲は-5から+5です。[0]がデフォルト値で、これは SUP 1.0 で使用されていたシャープネス及びディテール設定と合致します。

生成されるイメージについては、適切なモニターで必ず確認するようにしてください。十分なクオリティを持つ業務用モニターを HD-SDI で接続して確認するのが理想的と言えます。

シャープネスとディテールを構成するには、[MENU]>[System]>[Sensor]を選択します。



イメージシャープネスの設定は、上から下に向かって高くなります。イメージディテールの設定は、左から右に向かって高くなります。中央のイメージがデフォルト値 (0) で、これが SUP 1.0 で使用されていたシャープネス及びディテール設定と合致します。

21. EVF のズーム、ピーキング機能の改善

ビューファインダーのズーム機能は、ズーム比が高くなった他、ディテールの視認性も向上しているため、フォーカス確認がより簡単になりました。新しいシャープネス及びディテール設定のイメージを確認したい場合にも便利です (HD-SDI を接続した業務用モニターが手元にない場合に推奨します)。

ピーキング機能では、マッピング能力が向上し、値の範囲が拡大しています。

22. テンポラリーライセンスのサポート

※テンポラリー(時限)ライセンスをご希望のお客様はナックイメージテクノロジーまでご相談ください。

アミーラライセンスの Web サイト (https://alshop.arri.de/catalog/amira_licenses) では現在、「アドバンスト」、「プレミアム」、「アドバンストからプレミアム」モデルアップグレードに対応したテンポラリーライセンスが提供されています。

テンポラリーライセンスは 1 週間 (7 日間) 有効です。ライセンスの残り時間のカウントダウンは、カメラでライセンスを有効化した瞬間から始まります。

期間を延長するために、複数のライセンスを購入してインストールすることもできます。ライセンスは、必ずライセンスの数に従ってアクティベートするようにしてください。
 テンポラリーライセンスに対する購入、ダウンロード、インストール、有効化の方法はパーマナント（永久）ライセンスとまったく同じ方法で行います。
 ライセンスの終了時間は、[MENU]>[System]>[Licensed features]で確認することができます。



23. High Humidity(高湿度)モードの追加

SUP 1.1 には、高湿度モード（このモードに合わせてキャリブレーションしたカメラに限って使用可能）が搭載されています。高湿度モードでは、高い温度と高い湿度が組み合わさった環境（たとえば気温 40°C で湿度 100%のエリアなど）における、センサーの曇りなどの潜在的な問題を軽減させます。高湿度モードを有効にする場合は、[MENU]>[System]>[Sensor]を選択し、[Sensor temperature]を[High Humidity]に設定します。

注：このモードは、イメージのクオリティを低下させる可能性があります。適切な場合に限って使用するようにしてください。

24. オーディオライン入力レベルの向上

新しいオーディオボード（IAOU2）を搭載したカメラの場合、向上したオーディオライン入力レベル、24dBu を使用することができます。この設定を使用すると、特定のデバイスで使用する場合に信号レベルを高くすることができます。この機能を有効にするには、[SETUP]>[Maximum line levels]を選択し、[IN A]、[IN B]、[IN C]に対して[+8 DBu]と[+24 dBu]の間で切り替えます。
 注：IAOU1 世代のボードを搭載したカメラでは、これらのパラメータが無効になっています。

SETUP	MAXIMUM LINE LEVELS
Audio recording	On ◀ Back
Test tone	Off
Maximum line levels	▶ IN A +8 dBu
Display brightness	5 IN B +8 dBu
Display style	Day IN C +8 dBu
Bluetooth	▶

25. 新世代 SanDisk 128 GB カードのサポート

SUP 1.1 では、現行の SanDisk 60 GB 及び 120 GB CFast 2.0 カードに加えて、ファームウェア HDX 14.14 を搭載した新世代の SanDisk 128 GB カードもサポートしています。

残念ながら、カードの技術的な制約のため、SanDisk の 64 GB カード（カード内のファームウェア HDX 14.02 及び HDX 14.14）や、カード内ファームウェア HDX 14.02 の 128 GB カードはサポートされていません。

SUP 1.1 のアミューラではその他のカードは動作することができません。新しいカードがサポートされる場合は、将来の SUP で対応することになります。

SanDisk が最初に出荷した 64 GB 及び 128 GB カードのロットには、ARRI カメラでの使用に適していないファームウェア（HDX 14.02）が搭載されていました。

Q：新しい SanDisk 64 GB 及び 128 GB カードが、なぜアミューラやアレクサで動作しないのですか？

A：SanDisk が最初に出荷したこれらのカードのロットには、バージョン HDX 14.02 のファームウェアが搭載されていました。しかしこのバージョンのファームウェアは、アミューラ及びアレクサのカメラではサポートされていません。これは、このバージョンのファームウェアが ARRI の認証サイクルを完了していないためです。

Q：アミーラ SUP 1.1 及びアレクサ SUP 11 では、SanDisk 60 GB 及び 120 GB カードを引き続きサポートしていきますか？

A：はい。アミーラ及びアレクサは、これらのカード（ファームウェアバージョン HDX 8.03）を引き続きサポートしていきます。

Q：アミーラ及びアレクサのカメラで動作する SanDisk 64 GB 及び 128 GB カードはありますか？

A：ARRI は、新しいファームウェアバージョン（HDX 14.14）を搭載した 128 GB SanDisk カードの動作について、検証を行い認証しています。これは、ソフトウェアアップデートパッケージ SUP 1.1 をインストールしたアミーラでサポートされています。

SanDisk では、64 GB カードのアップデートについても作業を継続中であるため、将来の SUP でサポートされる可能性もあります。

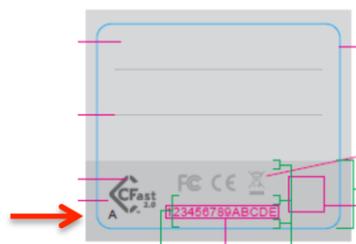
アレクサ XT の場合、これらのカードは SUP 11 でサポートされる予定です。

Q：ファームウェアバージョン HDX 14.14 を搭載した SanDisk 64 GB 及び 128 GB カードはいつ入手できますか？

A：128 GB カードは 2015 年 1 月初旬、64 GB カードはそれ以降に出荷される予定です。

Q：カードに搭載されているファームウェアのバージョンはどのようにして確認できますか？

A1：互換性のあるカードの場合、カードの背面ラベルの左下隅に「A」という文字がプリントされています。



A2：小売包装の形式で販売されているカードには、以下のような新しい部品番号が付けられています。

- SDCFSP-128G-A46A
- SDCFSP-128G-G46A
- SDCFSP-128G-J35A
- 「A」という文字が最後に付いた新しい部品番号

A3：ARRI が販売するカードには、カードのケースに「Tested by ARRI（ARRI で検証済み）」というシールが付いており、これは、ARRI がそのカードの機能について検証したことを示しています。

Q：以前のファームウェアリリースが搭載されたカードを買っている場合、どのような方法でこのカードを交換することができますか？

A：SanDisk は、RMA（製品交換）プロセスで、カードの交換に応じています。E メール（support@sandisk.com宛）または電話（866-270-5532：USA フリーダイヤル）で SanDisk Extreme Cards Team に事情を伝えてください。その際、購入した 64 GB または 128 GB CFAST 2.0 カードが ARRI カメラで認識されない旨伝えるようにしてください。また、交換が必要な購入済みカードの枚数と連絡先（名前、E メール、住所）も伝えます。E メールについては、24～48 時間以内に返信があります。

Q：顧客自身がカードのファームウェアをアップデートすることはできますか？

A：いいえ。SanDisk は、RMA（製品交換）プロセスで、カードの交換に応じています。

D. 既知の問題

以下のリストは、この SUP 1.1 ソフトウェアパッケージの既知の問題を示しています。一般的な質問に対する回答については、ナックイメージテクノロジーの WEB サイト（「AMIRA」よくある質問）もしくは ARRI の WEB サイトを参照してください。

アクセサリ

- **レンズマウントの交換**
レンズマウントの取り付けや取り外しの際、カメラの電源がオフになっていることを確認してください。カメラの電源を入れたままレンズマウントを交換すると、カメラの電気部品が損傷する可能性があります。
- **EF レンズのイメージスタビライザー**
EF レンズのイメージスタビライザーはサポートされていません。
- **LDS 接点を使用した場合とレンズカメラケーブルを使用した場合で、ENG スタイルの PL マウントレンズのレンズデータが変わる**
ENG スタイルの PL マウントレンズを使用する際は、LDS 接点を介した場合（レンズカメラケーブルを接続していない場合）とレンズカメラケーブルを接続した場合とで、レンズデータの値が変わる可能性があります。
- **起動後における Bluetooth デバイスとの再接続**
カメラを起動するとき、オーディオモニタリングのための Bluetooth デバイスが自動的に再接続することはありません。手動で Bluetooth デバイスを再接続させてください。
- **EF レンズ及び ENG レンズの自動アイリス計算**
EF レンズ及び ENG スタイルレンズのオートアイリス計算は、ニュートラルグレーカードでの露出に基づいて行われます。オートアイリス計算を補正したい場合は、[HOME]>[EI]>[IRIS]> [OPTIONS]>[AUTO IRIS OFFSET]で調整します。

オーディオ

- **オーディオライン入力設定時の注意**
オーディオライン入力する場合は、ミキサーから -20db で出力し、カメラで +3db に設定すると、-20dbFs ピークになります。
- **オーディオライン入力の個別の動作**
オーディオライン入力では、最大 +8dBu の信号に対応していますが、信号の減衰は最大 -6dB に制限されています。そのため、クリッピングを回避するためにライン入力力が +8dBu を越えないようにしてください。高い入力レベルを使用する場合は、外部アッテネーターを使用するか、信号レベルを低下させてください。
新しいオーディオボード（IAOU2）を搭載したカメラの場合、ライン入力レベルを 24dBu に切り換えることができます。このモードを有効にする方法については、上記の「新しい機能」の第 24 節を参照してください。
- **1 つのオーディオ入力を異なるレベルで記録できない**
1 つのオーディオ入力を異なる録音チャンネルに送ることはできますが、録音レベルがすべてのチャンネルで同じになり、変動させることができません。
- **停止時のオーディオノイズ**
カメラの電源をオフにするとき、大きなオーディオノイズが発生する可能性があります。ヘッドフォン着用時は注意が必要です。
- **[AUDIO RECORDING]をオフにしているときに音声の再生がオフになる**
[AUDIO RECORDING]を[OFF]に設定している場合は、音声と一緒に収録されたクリップを再生しても音声は再生されません。
- **PROJECT フレームレートと一致しない SDI フレームレートでは、SDI にエンベッドされたオーディオが再生されない**
SDI 出力のフレームレートが PROJECT フレームレートと異なる場合、クリップにオーディオがあっても、再生時、SDI にエンベッドされたオーディオが再生されません。オーディオはヘッドフォン出力では再生されます。

入出力

- **HD-SDI Genlock がシングルリンク HD-SDI 422 の 1.5G 信号に制約される**
HD-SDI を持つ Genlock の場合、入力、同じフレームレート（30fps 最大）を使用したプログレッシブ 422 の 1.5G シングルリンク HD-SDI 信号でなければなりません。
- **HD-SDI 出力の設定はリーガルレンジのみ**
エクステンデッドレンジの設定はできません。
- **HD-SDI 出力にレックフラッグが載らない**
HD-SDI 出力にレックフラッグは、エンベデットされていません
- **同時に使用できる USB スロットが 1 つだけ**
起動時に 2 個の USB メモリを接続している場合、スロット 1 のデバイスが無視され、スロット 2 のデバイスのみが使用されます。2 番目のスロットは、USB デバイスに電源を供給する目的で使用することができます。
- **USB メモリの取り外し**
カメラがデータ（ユーザーセットアップ、カメラログ、フレームライン、ライセンスキーなど）を読み書きしているときに USB メモリを取り外す場合は、必ずファイル転送が完了したことを確認してからデバイスを取り外すようにしてください。ファイル転送が不完全なまま終了した場合、カメラまたは USB メモリ上のデータが破損する可能性があります。
- **アミーラで一部の USB デバイスが正常に動作しない**
一部の USB デバイスについては、使用の際に問題が起こる可能性があります。あらかじめそのデバイスをテストするか、カメラにあらかじめ付属されていた USB メモリを使用するようにしてください。
- **アミーラでの USB デバイス**
アミーラでは、USB メモリのみをサポートしています。ハードドライブやそれに相当するデバイスは認識されません。詳細については、マニュアルを参照してください。
- **2K で収録する場合の HD-SDI 出力のスケールングクオリティの限界**
生成されるイメージのクオリティは、モニタリング用には十分と考えられますが、その信号をマスター収録として記録する場合には限界があります。これは、2K の分解能が HD にダウンスケールングされるために起こります。HD をマスター収録として HD-SDI 出力に出力するときは、収録フォーマットを HD に設定するようにしてください。

メディア

- **CFast カードの*_BIN.bin ファイル**
アミーラでは、収録時に「*_BIN.bin」（たとえば A001R3VJ_BIN.bin）というファイルが生成されます。このファイルは内部データ管理のためのデータであるため、無視することができます。

モニタリング

- **収録中にリターンインを起動するとエラーが発生**
収録中は、リターンインを起動しないでください。
- **カラーバーを有効にしたとき SDI 出力にテストトーンがなくなる**
カラーバーを有効にした場合、テストトーンを有効にしても、SDI 出力ではテストトーンが出力されません。
- **リターンインがプログレッシブ信号に制限される**
HD-SDI のリターンイン信号は、プログレッシブフォーマットにするか、カメラ設定と同じにする必要があります。PsF とインターレスの信号は受け付けません。
- **180 度画像回転収録機能は収録映像には適応されない**
画像の上下左右反転機能は、ファイルには適用されていません（モニタリングとメタデータのサポートのみです）

収録

- **SanDisk カードを使用する場合の収録中の電力喪失**

カメラがカードに収録しているときに SanDisk CFast 2.0 カードを外した場合、または収録中にバッテリー電力または電源が突然喪失した場合など、その後カメラによって指示が出されたら、カードを再フォーマットしなければ、そのカードをその後利用することができません。その場合、カメラに警告メッセージが表示されます。次の収録時にカードが損傷してしまうのを防ぐため、その指示に従いフォーマットしてください。カメラが警告メッセージを出さなかった場合は、何もする必要はありません。
詳細について知りたい場合やさらに問題が発生した場合は、ナックイメージテクノロジーもしくは ARRI サービスにお問い合わせください。
- **SanDisk CFast 60GB カードのフレームレートの制約**

SanDisk 60GB カードでは書き込み速度が十分でないため、最大フレームレートが制約を受けます。たとえば 2K での ProRes 4444 の収録の場合 120 fps、HD での ProRes 4444 の収録の場合 137 fps、2K での ProRes 422HQ の収録の場合 181 fps、2K での ProRes 422HQ の収録の場合 181 fps という制約があります。
- **高温時 SanDisk 120GB カードをカードスロット B に挿入した場合の高データレートでの収録**

40°C または 104°F を越えるような超高温環境で SanDisk 120GB カードを使用し、200fps など高いフレームレートで ProRes 4444 収録する場合、カードスロット B は最大収録持続時間について制約を受けます。このような条件下で長時間収録したい場合は、CFast スロット A を使用してください。上記条件以外の収録の場合は、スロット B を御使用いただけるようになりました。
- **最大クリップサイズに対するエラーメッセージ**

非常にまれですが、カメラが収録を停止し、「Recording stopped - maximum clip size reached (収録停止 - 最大クリップサイズに達しました)」というメッセージを出すことがあります。これは、イメージの内容にほとんどディテールがなく、ProRes LT などの低データレートのコーデックを使用している場合に限って発生します。
- **カードあたりの最大クリップ数は 400**

アミーラでは、1 枚のカードに 400 以上のクリップを収録することができません。この制限を超えて収録しようとした場合でも、カメラがそれについて詳細な情報を提示するようなことはなく、単純にそれ以上のクリップの収録が拒否されます。

SUP アップデート

- **カメラのデフォルトセットアップがリセットされる**

SUP アップデートを行うと「デフォルトセットアップ」がクリアされます。
- **タイムゾーン/サマータイムがリセットされる**

SUP アップデートを行った後は、タイムゾーン/サマータイムを必ず設定し直すようにしてください。

タイムコード

- **一部のデバイスの 3G HD-SDI 出力でエンベッドされたタイムコードが消失**

HD-SDI 出力が 3G に設定された状況で、信号にエンベッドされたタイムコードが一部のデバイスで読み込まれないことがあります。1.5G HD-SDI 出力設定を使用した場合、タイムコード出力にはこのような制約はありません。

使い勝手

- **カメラメニューからライセンスを消去することが可能**

インストールされているすべてのライセンスは、ライセンスメニューから消去することができます。この操作を行うことで、対応する機能がカメラから除去されます。ライセンス（たとえばアミーラアドバンストやプレミアムライセンスなど）を再インストールするときは、その個別のカメラに対する適切なライセンスキーをリロードする必要があります。カメラをライセンス付きで購入している場合は、カメラに付属する USB メモリにライセンスキーが格納されていますので、御使用前に必ずそのライセンスキーのファイルをバックアップしておいてください。ARRI ライセンス Web サイトでライセンスを購入している場合は、その際に提供されたライセンスを使用してください。
- **カスタム 3D LUT を含む Look をロードする場合は「アミーラプレミアムライセンス」が必要**

このような Look をロードしようとしても、単に実行されないだけでメッセージなどは一切表示されません。
- **ファイル名の長さは最長 28 文字**

アミーラでは、28 文字を越すファイル名（拡張子を含まない）は、ロードすることができません。このようなファイルは、リスト表示されることもなく、使用することもできません。
- **USB メモリ上のカメラファイルの数の制限**

USB メモリに入れることができる設定ファイルの数には制限があります。たとえばユーザーセットアップの場合 20 ファイル、Look ファイルの場合 100 ファイル、フレームラインの場合 100 ファイル、ライセンスファイルの場合 100 ファイル、SUP の場合 20 ファイルという制約があります。
- **デフォルト Look ファイルの再ロード**

デフォルトの Look ファイルを削除した場合、ファクトリーリセットを行えば、削除したデフォルト Look ファイルをリストアできるようになりました。
- **「REC 709」 Look ファイルのエクスポート**

何らかの理由で Look ファイル「REC 709」を USB にエクスポートする必要がある場合、まずそのファイルの複製を行い、それを異なる名前（たとえば「REC 709mod」）で保存するという方法を推奨します。
- **収録中の露出インデックスまたはホワイトバランスの変更**

収録中に露出インデックスまたはホワイトバランスを変更すると、単一のフレームに 2 つの異なるイメージ特性が割り当てられることがあります。
- **消去の間、他のカードへの収録ができない**

カードを消去している間、2 番目のカードに収録することはできません。また、カードの消去中に、カメラ設定を変更することもできません。
- **プロジェクトレートと異なる速度でのセンサーFPS の動作**

オーディオ録音を行い、プロジェクト速度で再生する（つまりスローモーションまたはファストモーションではない）クリップを作成するには、センサーのフレームレートとプロジェクトレートが一致しなければなりません。

以下で設定をチェックすることができます。

 - ホーム画面上。プロジェクトレートがタイムコードの後ろに表示されます（例：@25p）。
 - [FPS]画面上。プロジェクトレートが FPS 設定の下に表示されます。このとき、標準速度、スローモーション、クイックモーションのいずれで収録しているかも表示されます。
 - 設定が一致していない場合、オーディオ画面に「audio recording disabled (FPS)（オーディオ録音オフ）」というメッセージが表示され、ビューファインダモニタ上のオーディオレベルの上に、×が付いた小さいアイコンが表示されます。

設定が一致していない場合、ホーム画面に FPS アイコンが表示され、EVF/SDI ステータスオーバーレイがオレンジで表示されます。またホーム画面の FPS のロゴの隣には、オレンジの“！”（感嘆符）が表示されます。

ビューファインダ

- **ビューファインダの近接センサーを常時覆わないでください**
アイピースの近くにあるビューファインダ端部の近接センサーが、テープなどで常時覆われていると、OLED ディスプレイが、修復不能な焼き付けを起こすことがあります！
- **ビューファインダがオンにならないことがある**
アミーラの EVF は近接センサーを搭載し、カメラマンが接眼しているときのみアイピース内の OLED ディスプレイがオンになる仕様となっています。望ましくない角度で MVF に接眼した場合、ディスプレイが正しくオンにならない場合があります。
- **アミーラのビューファインダはホットプラグ未対応です**
カメラのブート時にアミーラのビューファインダが接続されていない場合、カメラを再起動しない限り機能しません。
- **超低フレームレートでのズームまたはサラウンドビュー**
超低フレームレート（約 5 fps 未満）のときにズームまたはサラウンドビューをオンまたはオフにすると、EVF の接眼部と液晶モニタのイメージが一時的に薄くなります。
- **ヒートッドアイカップ HE-6 はアミーラビューファインダと互換性はありません**
ヒートッドアイカップを使用する場合、OLED ディスプレイをオンにする近接センサーが常にオンの状態になります。この状態では、OLED ディスプレイが使われていないときもオフにならないため、表示されたイメージ(特にステータス情報)が長期間に渡って変化せず、焼き付けを起こす可能性があります。
- **近接センサーの潜在的な問題に対応した新しいバージョンのビューファインダの提供を予定しています。アップグレードについては、ナックイメージテクノロジーまでお問い合わせください。**
- **互換性を持つヒートッドアイカップ HE-7 も将来提供を予定しています。**